

各 位

2021年7月16日
株式会社インプレス

業務自動化の第一歩として最適な入門書
『できる Power Automate Desktop ノーコードで実現するはじめてのRPA』を
7月20日に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、注目のRPAツール「Power Automate Desktop」の実践的な解説書『できる Power Automate Desktop ノーコードで実現するはじめてのRPA』を2021年7月20日（火）に発売します。



■業務自動化に最適なRPAツールの入門書

「RPA」（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、人間が行っていたパソコン上の作業をパソコン上で動くロボットを使って自動化する技術のことです。働き方改革や、DXなどの推進を受けて、数年前からRPAツールを導入する企業は急速に増え始めました。しかし、ITを活用できる人材の不足や、導入時に掛かる費用や運用コストの高さを理由に、組織への導入が見送られる実情も存在します。このような市況を背景に、プログラミングスキルがない人でも扱える無料のRPAツール「Power Automate Desktop」の解説書を発売いたします。

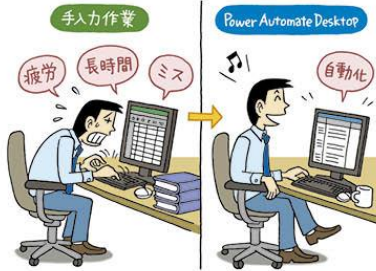
Power Automate Desktopで業務を自動化するメリットを知ろう!

パソコン上のさまざまな業務を自動化できる!

Power Automate Desktopはパソコン上の操作を自動化するツールです。ExcelやWord、Webページ、インストール型のアプリケーション、メールなど、パソコン上でやっている作業のほとんどに対応しており、複数のアプリケーションをまたいだ業務も自動化が可能です。Power Automate Desktopが得意とする業務は「決められた操作を繰り返す」ことです。手入力であれば間違いが繰り返される作業をミスすることなく実行できるため、定型業務の負担を軽減し、業務を効率化できます。

●自動化できる業務の例

- ExcelのデータをWebページ上の入力欄に転記する
- セミナー参加者に謝礼のメールを一括で送る
- 今月の売上データを販売管理システムに入力する



専門知識が不要の無料ツール

ノンプログラマーでも習得できる無償のツールであることがPower Automate Desktopの特徴です。以前はパソコン上の操作を自動化するには、専門知識が必要でした。しかし、Power Automate Desktopはプログラミングスキルがない人でも扱えるように設計されています。「Excelファイルを開く」「Webページのボタンをクリックする」などパソコン上でよく行われる操作があらかじめ登録されており、それらを選び並べていくことで業務を自動化することができます。

●プログラミングの場合



VBAなどを使ってコードを記述するには知識が必要

●Power Automate Desktopの場合



どのような機能なのかわかるため専門知識は不要

ExcelなどのOffice製品とスムーズに連携

Power Automate Desktopはマイクロソフトが開発するツールであることも魅力の1つです。日々の業務に欠かせないExcelを操作するための機能が24種類も準備されており、さまざまな操作が可能です。

サインインアカウントもほかのマイクロソフト製品と同じものを使用することができ、Office製品とスムーズに連携できます。

Excel上のデータをすべて読み込む

売上日	コード	名称	売上額
2021/6/1	0001	A社	100,000
2021/6/2	0002	B社	200,000
2021/6/3	0003	C社	300,000
2021/6/4	0004	D社	400,000



巻頭ページでは「Power Automate Desktop」の特徴を分かりやすく解説

■仕事で役立つ実践的な使い方が身に付く

「Power Automate Desktop」はパソコン上の作業を自動化できるマイクロソフトのアプリです。元々、利用にはライセンスの購入が必要でしたが、2021年3月にWindows 10を搭載したパソコンであれば無償で使えるようになりました。本書では「Power Automate Desktop」のインストールや基本操作から、Excelでの請求書作成、Webフォームへのデータの一括入力、メールの一斉送信を自動化する方法まで解説しています。練習用ファイルを使い、実務を想定した業務の自動化に取り組むため、自動化の組み立て方やPower Automate Desktopの活用方法がしっかりと身に付きます。難しいプログラムコードを書くことなく、業務を効率化したい人に最適な解説書です。

レッスン 13 「変数」を知ろう

Power Automate Desktopを使いこなすうえで重要な変数を解説します。「変数」の考え方が理解できれば、さまざまな自動化に応用できるようになります。

必要値を一時的に保管できる「変数」

「変数」とは、数値やテキストなどのデータをPower Automate Desktopの中で一時的に保管できる「箱」のようなものです。下図のように、毎日デパートとして配る果物を入れる「本日の果物」と書かれた箱があるとします。この箱に入る果物は、昨日は「さくらんぼ」、昨日は「ぶどう」、今日は「メロン」と毎日変わっていきます。Power Automate Desktopにも、このような「箱」を「変数」として準備することができます。変数に必要な数値やテキストなどを入れることができます。変数を入れる箱の名前を「変数名」、箱に初めて入る数値やテキストを「初期値」、現在箱の中に入っている数値やテキストを「現在値」といいます。変数に格納したデータは、変数名を使うことで自由に呼び出し、各アクションの設定にも使用できます。

変数の作られ方は2種類ある

変数は、「変数の設定」アクションを使って自分で作る場合と、選択したアクションによって自動で作られる場合があります。「変数の設定」アクションの場合は、自分で変数の初期値を決めることができます。一方、選択したアクションによって自動で変数が作られる場合、初期値はそのアクションによって取得される値となります。例えば、ExcelワークシートのセルA1のデータを読み取るアクションを配置した場合、「ExcelData」という変数がアクションにより作られ、読み取ったデータは初期値として格納されます。

変数には「型」がある

変数にデータが格納されると、データの種類ごとに「型」が決まります。氏名などのテキストが格納された場合は「テキスト型」、100や200などの数字が格納された場合は「数値型」など、複数の型が存在します。変数の「型」は自動で決められるので、あまり意識しなくても使うことができます。0から始まる数字を変数に格納する場合には注意が必要です。例えば、「001」を変数に格納したい場合、変数の型が「数値型」になっていると、先頭の0が自動で消去されてしまいます。このような場合は、変数の「型」を「数値型」から「テキスト型」に変更するアクションを使って「型」を変更する必要があります。

変数の主なデータ型

データ型	説明
数値型	0～9（マイナスも含む）までの数字に適用される数値演算可能なデータ型
テキスト型	あいふろあ、abcdc...といった文字列に適用される
Datetime型	{5/17/2021} {3:04:42 PM}といった日付や時刻に適用される
データテーブル型	リストが2列以上存在するExcelのような表形式のデータの型。データテーブル型は、変数に格納されたデータは、変数[行数][列番号]と書き指定する必要があるが、プログラミング用途では2次元配列に相当
インスタンス型	WebブラウザやExcelなどのアプリケーションの起動や、アプリケーションのウィンドウを取得した際に適用される。操作するウィンドウを指定する際に必要となる

変数の「型」はどのよう確認できる？

変数の型は、フローアクションが実行されると確認できます。変数の現在値が表示されている状態で「変数-メニュー」の各変数メニューボタンを右クリックして、「[表示]」の順にクリックすると確認できます。

フローを実行してから確認する

1. 「その他のアクション」をクリック
2. 「表示」をクリック

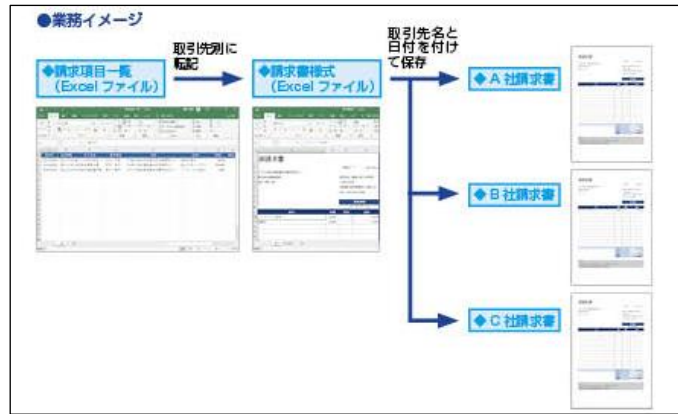
変数名の右に変数の「型」が表示される

「[閉じる]」をクリックすると画面が閉じる

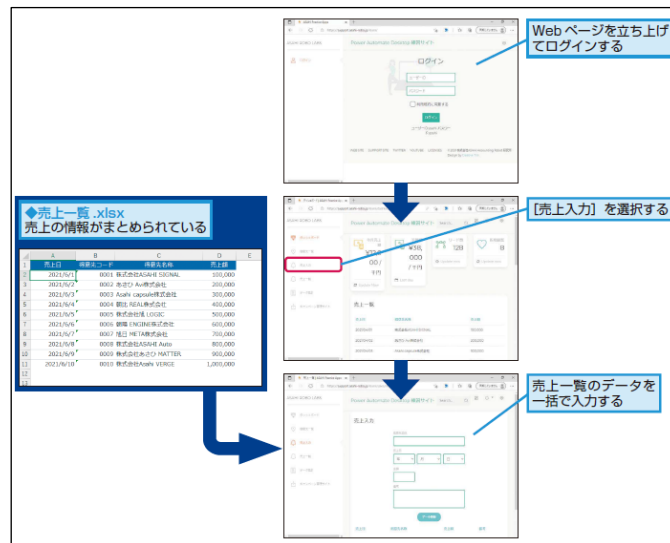
次のページに続く

プログラミング未経験者には聞きなれない「変数」も丁寧に解説

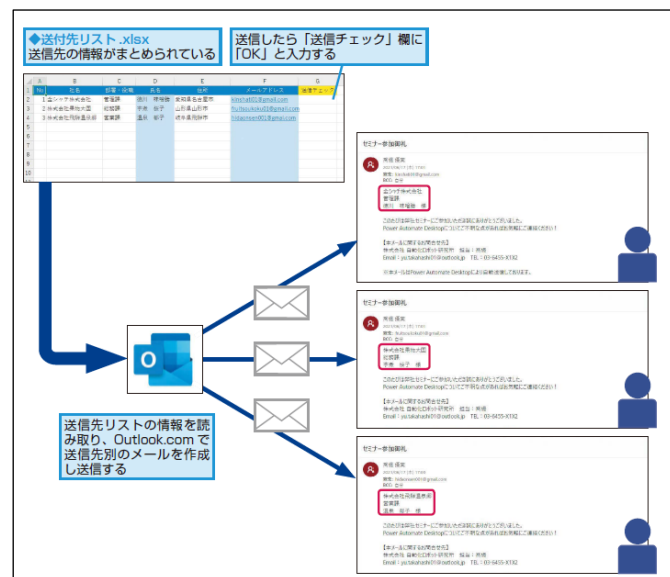
■本書の後半で扱う自動化の一覧



請求情報を元に、取引先別の請求書をExcelで作成する



売上一覧のデータをWebページの入力欄に一括で登録する



同じ内容のメールを送付先リストの送付先別に一斉送信する

<本書はこんな人におすすめです>

- ・ プログラミングに苦手意識がある人
- ・ これまで業務の自動化に取り組めていなかった人
- ・ 日々の定型業務を手っ取り早く自動化できる方法を知りたい人
- ・ RPAに興味がある人

■書誌情報



書名： できるPower Automate Desktop ノーコードで実現するはじめてのRPA

著者： あーちゃん&できるシリーズ編集部

監修：株式会社ASAHI Accounting Robot研究所

定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）

電子版価格：2,200円（本体2,000円＋税10%）※インプレス直販価格

発売日：2021年7月20日（火）

ページ数：208ページ

ISBN：978-4-295-01175-0

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295011754/>

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1120101186>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501175.jpg>

■目次

第1章 Power Automate Desktopの基本を学ぼう

第2章 フローの作成方法を知ろう

第3章 Excelの作業を自動化しよう

第4章 Webフォームへの入力を自動化しよう

第5章 メール送信を自動化しよう

■著者プロフィール

あーちゃん

製造業の人事総務として手書き、転記作業に追われる日々に疑問を感じる中、RPAに出会い、書籍で独学し、勤務先の企業にてRPA導入を開始する。RPA導入に孤軍奮闘する姿がTwitterで話題に。Power Automate Desktopとの出会いでTwitter転職も果たす。現在はローコード支援会社にフルリモートで勤務している。

Twitterアカウント：@aachan5550

■監修プロフィール

株式会社 ASAHI Accounting Robot 研究所

税理士法人あさひ会計のロボット導入チームにおいて、Power Automate Desktopの前身であるWinAutomationを2018年に導入。1年間で数千時間にも及ぶ削減に成功し、2019年1月に法人化。「ヒトとロボット協働時代を推進、RPAで日本の中小企業を変える！」を合言葉に北海道から沖縄まで全国各地の会計事務所、社労士事務所、事業会社にRPAやローコード開発ツール、AIを活用したDXソリューションの開発及び導入支援を行う。

■できるシリーズについて

<https://dekiru.net>

「できる」シリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。操作に必要な「すべての画面」と「すべての手順」を紙面に掲載しているので、パソコンやインターネットの操作に不慣れな方でも簡単に操作や知識を身に付けられます。楽しみながら操作を学べるように、各レッスンにストーリー性を持たせ、章ごとに知識が身に付く構成になっています。おかげさまで「できる」シリーズは、刊行開始から25周年を迎え、シリーズ累計7,500万部を突破しました。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。